

まちごとゼロカーボン市民会議に参加するにあたって

(1) 予備知識は一切不要です

本会議は参加者の皆様の予備知識がゼロでも問題なく意見交換できるよう、毎回有識者からの話題提供を行いながら進めます。また、会議の中で不安に感じること、疑問に思ったことに関しては、ご気軽にグループにいるファシリテーター等にお声がけください。

(2) 意見に正解不正解はありません

本会議では、皆様に何か一つの答えを求めているものではなく、一人ひとりの率直な意見をお聞きしたく開催するものです。グループワークについても、意見を戦わせるために実施するものではなく、他の参加者との対話を通じて、自分の意見をより深めたり、変化させたりすることが目的です。自身の意見が多数派であるとか、少数派であるとかは全く気にせず、かけがえのない自分自身の意見として大切にしてください。また、他の参加者の意見も同様に大切に受け止め、たとえ自分の意見と正反対な意見だとしても1つの意見として尊重いただきますようお願いいたします。

(3) 実現性に囚われず、様々な意見を

ゼロカーボンシティの実現は、現状の延長線上では難しく、時に大胆な発想も必要になります。現時点では実現が難しいようなアイデアであっても、「この意見は非現実的だから・・・」と思わず、是非積極的に発言してみてください。

(4) あまり発言できなくても大丈夫

会議で実施するグループワークの目的は、他の参加者との対話を通じて、自分自身の意見を深めるところにあります。なので、たとえ会議の中であまり発言できなくても、様々な意見に触れる中で、ご自身の中で考えることができれば問題ありません。また最終的に、アンケート形式の投票の形で自分の意見や考えを表明する場をご用意しております。

(5) 発言の匿名性の保証

市民会議における参加者の皆様の発言は、「誰がいつどんな発言をした」というような、個人が特定化されるような形では公表しない原則の下に会議を実施します。また会議の中では、参加者同士ニックネームで呼び合ってもらうことを想定しております。主催者は、責任をもってこの原則を遵守いたしますので、安心して発言してください。

参加者の皆様にとってより良い会議となるようにサポートしてまいりますので、気負わずに、安心してご参加ください！



I 会議全体の概要

I-I 開催趣旨

地球温暖化の影響は豪雨等の形で地球全体に表れています。2019年の台風19号では所沢市内でも多くの被害が出て、各所に避難所が開設され、約900名の市民が避難する事態となりました。このような自然災害は今後も益々増えるとされており、私たちの生活を脅かす事態になりかねません。

地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出を抑制するためには、私たち一人ひとりが当事者としてこの問題を捉え、何をすべきか、何ができるかを考えていくことが重要です。

今回開催する「まちごとゼロカーボン市民会議」は、選出された市民の皆様、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民生活に関係する観点から見識を深めていただきつつ、課題や対策について話し合ってもらいたいです。また、会議結果については市の政策づくりに活かされます。

I-II 会議日程

1日目	8月21日(日)13:00~	・オリエンテーション ・グループワークの練習 ・専門家からの情報提供 - 気候変動の現状と脱炭素の必要性 (国立環境研究所 江守正多氏) - カーボンフットプリントからみた所沢市の脱炭素型ライフスタイル(国立環境研究所 小出瑠氏) ・第2~4回で議論するテーマの決定
2日目	9月25日(日)13:00~	・第1回で決定したテーマに関する情報提供 ※情報提供はテーマ毎に、有識者、地域の実践者、所沢市の現状を1セットとして行います ・情報提供後、下記流れでグループワークを実施 ①生活の中や地域で取り組んだ方がよいこと ②実施するにあたっての課題 ③課題への対処方法
3日目	10月23日(日)13:00~	・第2回と同様の流れでテーマを変えて実施
4日目	11月27日(日)13:00~	・第2回と同様の流れでテーマを変えて実施
★第4回と第5回の際に、アンケート形式の投票※1を実施し、参加者の皆様の意見や考えを表明していただきます。尚、アンケート形式の投票はインターネットを利用して実施いたしますが、インターネットの利用が難しい方に関しましては、紙で実施する予定です。		
5日目	12月18日(日)13:00~	・所沢市の将来像について ・投票結果の共有 ・会議全体のふりかえり

※1「アンケート形式の投票」について

一参加者の皆様による対話、議論の結果をとりまとめる方法としてアンケート形式の「投票」を行います。話し合ったテーマについて設問を用意し、各設問について5段階の選択で、積極的に考えるか、消極的に考えるかをお答えいただきます。この投票結果は市の脱炭素化に向けた大切な情報として活用されます。「投票」といっても、選挙のように多数決で参加者の皆様の考えを取捨選択しようとするものではありません。

I-III 会議結果

毎回の会議で参加者の皆様から出た意見、アンケート形式の投票結果については、令和4年度から令和5年度にかけて2年間開催される環境審議会※2に資料として提出され、マチごとエコタウン推進計画※3の改訂や脱炭素に関する市の政策づくりに活かされます。

※2「環境審議会」とは

一市長の諮問（求め）に応じて、市の環境保全に関する基本的事項について調査及び審議を行う機関であり、委員は知識経験者、民間団体の代表者、市民等で構成されています。令和4年度～令和5年度に開催する環境審議会では、マチごとエコタウン推進計画の改訂についてご議論いただいています。

※3「マチごとエコタウン推進計画」とは

一所沢市の第3期環境基本計画です。環境基本計画とは、環境行政を総合的・計画的に推進・実施するべく策定された計画です。本計画には環境に関する目標やその実現のための施策のほか、地球温暖化を止める為の市の計画等も含まれています。

II 開催体制

主催：所沢市

協力：早稲田大学人間科学学術院

（早稲田大学との協働開催について）

所沢市は、早稲田大学（以下、早大）が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造するために、官学連携協定を締結しています。今回開催する市民会議は、早大の持つ知見を活用して、会議をより有意義なものとするとともに、会議の結果を早大と共有し、その成果を市の施策に反映することで、環境分野を始めとした各分野において市民へのフィードバックが図られるよう、早稲田大学人間科学学術院と協働で開催しています。

III 参加者

参加者：49名

一参加予定者は参加希望を頂いた111名の方から、性別や年代等を考慮して選出し、改めて参加承諾を頂きました。詳細は参考資料をご確認ください。

連絡先：所沢市役所 環境クリーン部 マチごとエコタウン推進課

〒359-8501 所沢市並木1-1-1

TEL:04-2998-9133 E-MAIL:a9133@city.tokorozawa.lg.jp

※土日祝日等時間外（緊急時）の連絡先:04-2998-1111

（委託事業者）

一般社団法人 環境政策対話研究所

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生3-12-11 エスケーハイツ103

TEL:044-387-0116 E-MAIL:zeo-ct@inst-dep.com

マチごとゼロカーボン市民会議 参加者の詳細

(性別)

	人数	割合	市全体の割合
男性	25	51%	49%
女性	24	49%	51%
合計	49	100%	100%

(年齢構成)

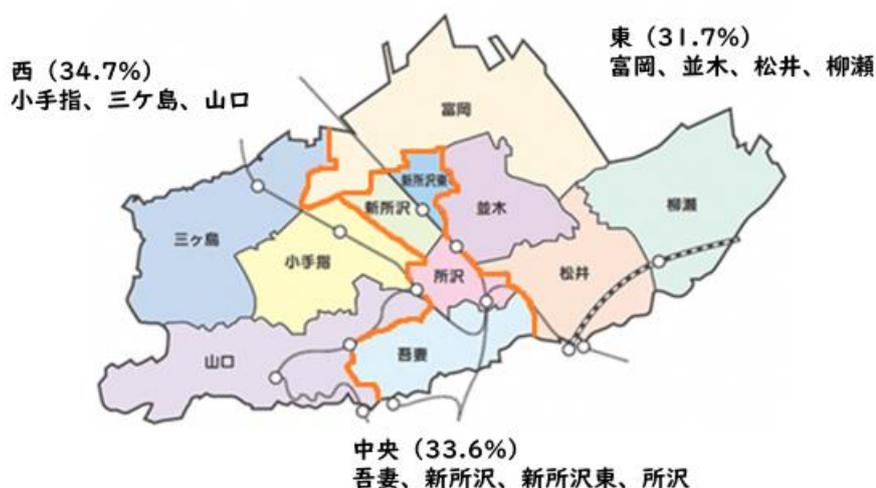
年齢	人数	割合	市全体の割合
19以下	11人	22.4%	18.1%
20-29	7人	14.3%	12.1%
30-39	9人	18.4%	13.2%
40-49	7人	14.3%	17.1%
50-59	7人	14.3%	16.7%
60以上	8人	16.3%	22.9%
合計	49人	100.0%	100.0%

(居住地区)

	人数	割合	市全体の割合
東	16	32.7%	31.7%
西	18	36.7%	34.7%
中央	15	30.6%	33.6%
合計	49	100.0%	100.0%

※居住地区は下の図のとおり、11ある行政区を東、中央、西で分けしました。

図 居住地区の分け方 ※ () 内の数値は総人口に対する割合



(意向調査票アンケート問1への回答状況)

問1 2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするため、所沢市では様々な取組を行っています。次のことについて、あなたが知っていることの文頭の□に✓をつけてください(✓はいくつでも)。なお、全て知らない場合には「全て知らない」の□に✓をつけてください。

選択肢	人数	割合	R3年市民意識調査の回答結果
市がゼロカーボンシティ宣言を表明していること	15	30.6%	11.0%
ところざわ未来電力が供給する環境負荷の少ない電力を公共施設で使用していること	9	18.4%	9.8%
ところざわ未来電力が、家庭向けに電力を販売していること	6	12.2%	6.9%
毎月25日を「RE100の日」として本庁舎等の使用電力を再生可能エネルギー100%にしていること	1	2.0%	3.2%
メガソーラー所沢やフロートソーラー所沢を設置し、市域へ再生可能エネルギーの普及を行っていること	11	22.4%	12.8%
家の断熱リフォームや太陽光発電設備、電気自動車等を導入する際の補助制度があること	12	24.5%	23.8%
全て知らない	25	51.0%	55.6%

(意向調査票アンケート問2への回答状況)

問2 これまでの生活において、地球温暖化対策に取り組んできましたか? (はい ・ いいえ)

	人数	割合	回答者全体の割合※
はい	40	81.6%	80.2%
いいえ	9	18.4%	19.8%
合計	49	100.0%	100.0%

※回答者全体の割合は、回答のあった方 398 人を母数とした数値です